



2021 年度  
第 6 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

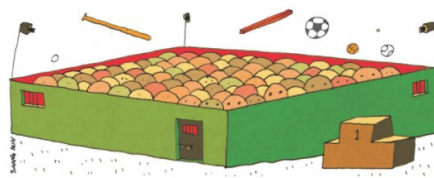
その時も今も  
間違っていること

1



スポーツ暴力の種

2



地域住民と一緒に  
「運動」する  
職場運動部のみが  
生存できる

3



国会教育文化フォーラム  
「スポーツ暴力根絶」  
討論会開催

4



スポーツ倫理センター  
スポーツ学校暴力  
集中申告期間運営

5



大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



## 01 中央日報 オピニオン チェ・ヘソン中央日報社会2チーム記者 2021.03.08

## その時も今も間違っていること



中学生の時、友人は国家代表を夢見る運動部の学生だった。早朝訓練を終えて登校していた彼女は毎朝先輩やコーチからその日に受けた事をまるで武勇伝のように話してくれた。他人に知られないように制服のスカートが隠してくれる太ももの上部とお尻をアイスホッケー用スティックなどで叩かれた。その時、私は「運動すれば皆そうだ」という友人の言葉を何の疑いなく信じていた。

国家代表出身のスポーツ選手Aと最近、社会的問題として浮上したスポーツ界の暴力に関連した会話をした時だ。「その時はみんな叩かれながら運動した」と私にAはきっぱりと言った。「暴力がひどかった時期は叩かれるけれど皆間違っていることを知っていました。私は叩かれる度に激しく抗議したんですよ。一体そんな事がどこにありますか。」

Aの言葉に瞬間、顔から火が出た。私は運動する友人に加えられる各種の暴力は問題にする事もなく、ただ当たり前のことと思って見過ごしてきたからだ。恥ずかしい私の告白にAは「そんなことはない。暴力はどんな言葉でも正当化できない」と述べた。

しかし、スポーツ界の暴力問題では原因をただ被害者から探す雰囲気だ。「お前さえうまくやれば叩かれる事はない」という論理だ。スポーツ人権問題を扱った映画「4等」(2016)の主人公12歳ジュノ。「万年4位」である息子を見かねた母は「子供が傷つくことがる」という周囲の引き止めがあっても暴力的なコーチを息子に付ける。映画の中の大人たちは「叩かれることより4位がもっと怖い」「叩かれるだけの理由があるので殴ったのではない」と暴力を黙認する。

このように願う結果のためなら暴力は必要な道具として認識される。スポーツ界に蔓延した成績至上主義が暴力という泥沼に導くことになる。コーチはジュノを殴った後言う。「これはみな君のためだ」

本当に選手のための事だったのか。私の友人はつらい訓練を我慢できずに高校生の時にスポーツをやめた。国際大会で数多くのメダルを取って華やかに選手生活を終えたAも美しい記憶だけが残ったわけではない。

「訓練を終えて家に帰り眠りに落ちるとき、お母さんが服をちらっと持ち上げてみたそうです。体にあざがあるかを確認したのです。青春をすべて捧げて運動した代価として残酷な記憶だと思う。最近その時の思いがよく浮かびます。」

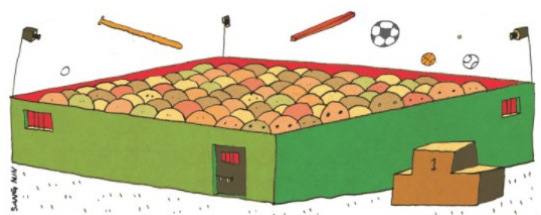
最近体育界を越えて社会各界に広がる「暴力ミートゥー」は、これまで絶えなかった暴力の問題をさらけ出し、社会の構成員がこれに対する深刻さを悟らせたことに意義がある。「この場はもともとそんなものだ」「お前(チーム)のためだ」という言い訳がもはや受け入れられない社会に進むことになる。今回のことを通じて、暴力はどんな理由でも絶対容認できないとの認識が社会のあちこちに定着しなければならない。そうなってこそ本当に変わる。

出典：<https://news.joins.com/article/24006614>

## 02 京郷新聞 ジョン・ウォンスのオフサイド 2021.0304

### スポーツ暴力の種

ジョン・ウォンススポーツ評論家・聖公会大教授



「すべてのスケジュールは監督とコーチが随時点検し、私たちは違う事はできなかった。選手が逸脱することができる時間と空間がなかった。学校前の文房具店にも行けないほどの統制を受けた。」

キ・ソンヨン選手事件と関連して当時、合宿所生活をしてきた関係者が社会関係網サービス（SNS）に投稿した記事の一部だ。キ・ソンヨン選手に有利な内容が盛り込まれたこの証言で私が注目したのは、上記のような統制された生活である。まずキ・ソンヨン選手と関連した直接的な事案は少し推移を見てみることにしよう。だからといって事件の深刻な状況が消えるわけではない。小学生が「学校前の文房具店にも行けないほど統制」されたままの生活をすると告白していないか。それも21世紀の初頭に。

（訳注：2021年2月24日、21年前の2000年、全羅南道の小学校で二人の先輩選手が二人の後輩選手にフェラチオを強要するなど、性暴行と暴行を加えたという内容の暴露が出た。応じない場合無慈悲な暴行が加えられたという。被害者の法律代理人は加害者の名前を直接言及しなかったが、マスコミを通じて明らかにした加害者に一致する選手はキ・ソンヨンしかない。これに対してキ・ソンヨンが事実無根だとし、汚名を受けた被害と今後発生する被害に対して法定の対応を辞さないとの立場を出した。）

この状況自体を大きい状況として認識しなければならない。長年にわたる国家人権委員会の実態調査と学生選手関連の専門研究者の継続的な報告によると、十数年繰り返されているスポーツ暴力の種はこのような小学校合宿所から由来し、中・高校課程では個人やチーム全体の強力な行為規範として働くようになり、大人になった後には暴力の上下階層秩序文化そのものを内面化する状況に固着される。

これは最近の事態が学校暴力の一般的な面に加えてスポーツ暴力という特殊な性格と結合されている事を、まさにその「特殊な性格」を直視すべき事であると悟らせてくれる。もちろん学校暴力一般も成長過程の人間の内面を引き裂くほどひどい面があるが、スポーツ暴力はここにいくつかの特徴が加わる。

まず時空間の徹底した制約と統制状態で行われる。一般的な学校暴力の場合にもその被害生徒が学校空間と仲間集団を分けるのが難しいが、学生選手たちは基本的に合宿所とキャンプ地訓練と大会出場という統制された時空間で生活する。統制された訓育の秩序から抜け出すのは容易ではない。幸いなことにこれらの時空間でも心を込めて世話をする監督やコーチと出会うことはあるが、そうでない場合、暴力は複合・重層的様相に展開される。指導者の黙認や幫助による「委任暴力」、当事者を「見えない人」として扱われる感情暴力、事態の原因が当事者にあると強要する一種のグルーミング暴力などがそれである。これらの暴力は「殴ったり叩いたりしことがあるか」という質問では把握できない構造的暴力であり、時空間の制御と圧力を行使した指導者たちが「殴ったことはない」と抜けていく簡単なアリバイになる。

今後、国家人権委員会やスポーツ倫理センターなどが「実態調査」をするとしたときに、物理的な暴行の膿みだけではなく、このような状況でどのように時間の圧迫が展開されて空間の統制が働くのかを把握しなければならない。それは何%が身体的な暴行を受けたかという数字では説明されない、生活要素全体についての文化的判断を必要とする。

ここで優れた選手とその親が一定の文化権力を形成し、他の学生が従属する面が現れるが、これはスポーツの特性上、一度形成されるとプロ選手になるまで持続される。他の学校に転校したり種目を変えるなど

の「自己隔離」が不可能なことがスポーツ暴力の特殊性である。だから大韓体育会が「思春期に思わず犯した行動」と言った言葉は、状況の重大さや事態の構造的な様相自体を全く理解していなかったか、あるいは意図的に無視した態度である。

問題の核心は最初に引用した状況が十数年ではなく今この瞬間に、全国の合宿所で繰り返されているという点である。国家人権委員会が2019年12月に発刊した〈合宿所の前に立ち止まった人権〉によると、「寝室にまでCCTVを設置し、学生選手を監視して統制するところもあり、管等姓名叫びながら（訳注：軍隊において上官の前で等級と氏名を言う）、毎日緊張状態」で生活している。

結局重要なかなめは文化体育観光部である。もちろん事態のある側面を教育部と協業するとか、実行の一部の責務を大韓体育会に委任することはできる。しかし、国家スポーツ政策とその事業においてこれ以上の上位単位を見つけることができない、最高に高いレベルの責任と権限を持つところが文体部だ。突発的な事件でもなく偶然に起きた事態でもない。それこそ「職をかけて」解決すべき国家的問題だ。

出典：[http://news.khan.co.kr/kh\\_news/khan\\_art\\_view.html?artid=202103040300035&code=990100](http://news.khan.co.kr/kh_news/khan_art_view.html?artid=202103040300035&code=990100)

### 03 スポーツ京郷 2021.03.02

#### 地域住民と一緒に「運動」する職場運動部のみが生存できる

文化体育観光部が大韓体育会、韓国プロスポーツ協会と一緒に作った標準契約書が近いうちに公開される。スポーツ界で発生している選手の人権侵害を解決するために作成された契約書である。手当、休日、勤務方式などを明記して選手、指導者の権利を保障するのが骨子だ。文体部は地方自治体、体育会、競技団体などの標準契約書の使用を勧告する方針だ。

江原道体育会は自主的に標準的な契約書を作成し、体育会の職場運動部と再契約した。選手団の規模は昨年より1人増えて運営費は27億ウォンから32億ウォンに増加した。給与、手当などを勤労基準法に基づいて反映した結果だ。

現在、全国の職場運動部は1243個だ。市道庁所属の495個をはじめ、市道体育会200個、競技団体348個、企業109社、公共機関65個、市郡区26個だ。運動部に標準契約書を適用する場合には、運営費が10～20%程度増加する。これで運動部の縮小、解体につながる可能性も無視できない。

費用の増加に起因する運動部縮小の可能性を最小限に抑える方法は何だろう。簡単でありながら重要な方法がある。職場運動部運営目標を大会で良い成績を上げることから離れ、地域で特定の役割を実行する方向に移っていくのである。

私たちが住んでいる自治体にどのような職場運動部があるか、はっきり知っている人はほとんどいない。彼らが良い成績を上げたとして彼らを記憶して賞賛する人さえ多くない。理由は地域で運動部の存在感がないからである。

運動部が地域での存在感を持つ方法は簡単である。継続的に地域住民と一緒に運動をして指導してくれることだ。たとえば私が居住する自治体にバドミントン職場運動部があると仮定しよう。彼らは素晴らしい技量を持っている。彼らが近所のクラブに来て一緒に運動するなら、彼らが人々に良いレッスンを提供するなら、彼らが子供の通う小中高を訪ね体育の授業を支援するなら、現場の反応はどうだろうか。地域住民と学生が喜ぶのは明らかである。これからも一緒に運動してレッスンも受け続けたいと思うものだ。職

場運動部の存在感が上がるのは当然である。選手たちも引退後の指導者の生活に備えて、一般人レッスンを先に経験してみる機会も持つことができる。

職場運動部が地域住民と一緒に呼吸する運動部になればどのような状況が起きるだろうか。もし職場運動部が大会で良い成績を出さなくても運動部をなくそうということは容易に出てこないだろう。彼らと一緒に運動した地域住民が解体に反対することが明らかである。地域活動に熱心な運動部が良い成績まで上げた場合、地域住民からの真のお祝いも受けることができる。自治体長と国会議員も地域住民票を得て生きている。政策は「投票者の心」に従うものだ。

地域住民と一緒にする運動部を作るためには自治体、体育会、指導者、選手間の共同体的な合意が必要である。自治体は運動部を成績で評価して存続を論じる習慣から脱しなければならない。体育会は運動部の体質を、成績を達成することではなく、地域の活動を積極的に実行する方向に改善しなければならない。指導者、選手も運動を通じた地域住民の健康増進の先頭に立つリーダーにならなければならない。地域奉仕と住民向け活動を義務化すること、選手団の評価基準に地域活動部門を大きく反映すること、長期契約で大会成績に対する負担感を軽減することなどが選手契約書に明記されるべきなのはもちろんである。同時に自己訓練に集中して、成績で自分の価値を証明して選手として大成したい人に地域活動を強要してはならない。

自治体、体育会、選手団の目は地域住民に向けなければならず、手と足は地域住民と一緒にしなければならない。そうしてこそ地域住民が運動部の存在感を感じることができ、運動部は成績に大きく揺れず、長く存在することができる。それは職場運動部の運用費用の増加が避けられない状況の中で、運動部だけでなく自治体、体育会、地域住民ともに健康に生きる道である。

出典：[http://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=202103021331003&sec\\_id=530101&pt=nv](http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202103021331003&sec_id=530101&pt=nv)

## 04 ストレートニュース 2021.03.06

### 国会教育文化フォーラム、「スポーツ暴力根絶」討論会開催



国会教育文化フォーラム（共同代表アン・ミンソク、崔ガンウク議員、研究責任議員金ビョンウク、カン・ミンジョン）が4日午後、最近相次ぐスポーツ暴力について根本的な対策を用意するために、国会討論会を開催した。

今回の討論会は、アン・ミンソク国会教育文化フォーラム共同代表、金スンギョム中京高校長、ムン・ギョナンスポーツ人権研究所代表（前文体部スポーツ革新委員長）、ホ・ジョンフン体育市民連帯共同代表、李ミンピョ学校体育振興会事務局長、朴ジョンヒ大邱市北区議員、教育部、教育庁、文化体育観光部、大韓体育会、スポーツ倫理センターの担当者など、多くの関係者が出席し、コロナ19の状況を考慮して非対面オンライン（zoom）ビデオ会議で進行してYouTubeチャンネル（アン・ミンソクTV）を介してリアルタイムで生中継された。

ユ・ウンヘ副首相兼教育部長官、ファン・ヒ文体部長官、崔ヨンエ国家人権委員長が映像祝辞でスポーツ暴力根絶と人権文化造成に強い意志を明らかにした。

今回の討論会の問題提起を務めたムン・ギョンナン代表（スポーツ人権研究所）はスポーツ人権侵害発生原因と構造的な問題を説明し、政府と体育界のスポーツ暴力ミートゥー対策の評価と一緒にスポーツ革新委員会の勧告の履行などのスポーツ暴力根絶案を提示した。

討論者として出たホ・ジョンフン体育市民連帯共同代表は市道体育会などスポーツ団体のスポーツ人権担当官の配置をはじめ、スポーツ界の公益情報提供に関する非実名代理申告制度の拡大などの対策を強調した。

また、李ミンピョ学校体育振興会事務局長は合宿訓練禁止を案として掲げ、学生が学業と運動を並行するようにスポーツシステムの全面改革を促した。

朴ジョンヒ大邱市北区議員も各自治体に人権監視官を配置し、学生選手の暴力経験実態調査の実施と体育専攻卒業生を体育専門の人権侵害および性暴力予防講師として養成することを提案した。

一方、スポーツ革新委員会の勧告はスポーツ界の構造改革のための民 - 官合同で発足した文化体育観光部スポーツ革新委員会が7回にわたって発表した内容である。

この勧告は、▲スポーツ性暴力被害者保護支援体系の確立▲学校スポーツ正常化▲スポーツ人権増進と参加の拡大▲スポーツ基本法の制定▲スポーツクラブ活性化▲エリートスポーツシステムの改善▲体育団体の先進化のための構造改革などの内容を骨子としている。

今回の討論会を開催したアン・ミンソク議員は「国民の熱望であり時代精神が込められた2019年スポーツ革新委員会の勧告を全面移行して、メダルのみ取れば良いというメダル・成績至上主義的な非教育・反人権的訓練の文化から脱して、すべての国民がスポーツを楽しめるスポーツ福祉国家を作るために一緒に進んでいただきたい」とし「政府と体育界が積極的な意志を持ってスポーツ改革と革新に率先してこそスポーツ先進国、スポーツ福祉国家に生まれ変わるだろう」と強調した。

出典：<https://www.straightnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=98932>

## 05 SBS NEWS 2021.03.05

### スポーツ倫理センター、スポーツ学校暴力集中申告期間運営

スポーツ倫理センターが今日（5日）から来月30日までスポーツ学校暴力集中相談・申告期間を運営すると明らかにした。

スポーツ倫理センターは「スポーツ選手の中で、学校暴力の被害者であれば誰でも相談、申告することができる」とし、「これは最近文化体育観光部が発表した学校運動部の暴力根絶とスポーツ人権保護システムの改善案によるもの」と伝えました。

センターは、

ヌリ家（[www.k-sec.or.kr](http://www.k-sec.or.kr)）

メール（[with@k-sec.or.kr](mailto:with@k-sec.or.kr)）

電話（1670-2876）

メール（ソウル特別市西大門区忠正路7、9階スポーツ倫理センター）

などで受付が可能であると説明しました。

出典：[https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news\\_id=N1006231491&plink=ORI&cooper=NAVER](https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006231491&plink=ORI&cooper=NAVER)

## 06 週間スポーツ人権関連のニュース

「学暴」を育てた国家主義スポーツ政策、市民中心に変えよう

<http://www.opinionnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=47300>

第2の崔スクヒョン防ぐことができるか... スポーツ倫理センター、信頼度打撃

<http://www.spotvnews.co.kr/?mod=news&act=articleView&idxno=407545>

平昌障害フォーラム9日に開幕「障害包括的な社会発展」談論の場

<https://www.newsl.kr/articles/?4234129>

「故崔スクヒョン事件後、自治体放置あった... 管理人材なく」

<https://www.fnnews.com/news/202103031007391046>

平昌の英雄「チーム金ヨンミ」が故郷のチームを去った... 危機の慶北体育

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5132983&ref=A>

相次ぐ「学暴 too」で選手・球団・学校みな「ぶるぶる」

<http://www.womaneconomy.kr/news/articleView.html?idxno=100010>

スポーツ人権と学校暴力、そして学生の教育権

<http://www.jejusori.net/news/articleView.html?idxno=326785>

李スンチャン大田市体育会長「学校・エリート・生活体育の好循環... スポーツクラブ特化都市になる」

<https://www.cctoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=2128874>

スポーツ倫理センター「スポーツ界人権侵害 129 件受付、32 件審議」

<http://www.newspim.com/news/view/20210302001118>

人権団体、IOC 倫理委員長潘基文で「北京オリンピック中止」圧迫

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210305116400009?input=1195m>

スポーツ界の暴力根絶するには、... 「メダルより人権」

<https://www.natv.go.kr/natv/news/newsView.do?newsId=500363>

スポーツ選手（性）暴力、学校暴力根絶するきっかけになれば

<https://www.idaegu.co.kr/news/articleView.html?idxno=339203>

【ホット議論 - 学校暴力]「学暴」爆発する場合にのみ、修善... 「実効性はない」

[http://www.naeil.com/news\\_view/?id\\_art=378454](http://www.naeil.com/news_view/?id_art=378454)

続くスポーツ界暴行論議、根本的な対案はないだろうか

<http://www.sportsworldi.com/newsView/20210303510825>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

[http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT\\_FORM&inquiryNo=2](http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2)

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)